

## 北海道「産業イノベーション創出」連携支援計画

### I 必須記載事項

#### 1 連携支援事業の目標

(1) 支援対象とする事業分野について

**【対象とする事業分野】**

本計画においては、北海道内の同意基本計画（46計画）に定める以下の「活用戦略」分野を対象とする。

- ①食料品製造関連分野
- ②農林水産・地域商社分野
- ③健康福祉・医療（ヘルスケア）分野
- ④観光関連（スポーツ・まちづくり）分野
- ⑤ものづくり関連（家具・木材関連産業含む）分野
- ⑥IT関連産業分野
- ⑦第4次産業革命分野（IoT・AI技術等）

※ 道内における同意基本計画（平成31年2月末現在）に記載されている「5（1）地域の特性及びその活用戦略」と本計画における連携支援事業と整合性ある「地域の特性及びその活用戦略」は添付資料のとおりである。

また、今後新たに基本計画（計画変更含む）が作成・提出された場合には、本計画における連携支援事業が支援対象とする事業分野との整合性を図りながら、連携支援事業を実施していく。

**【対象分野について】**

平成31年2月末現在、北海道内では47の基本計画（51市町村）が作成・同意されている。

このうち、本計画が対象とする「①食料品製造関連分野」は29計画、「②農林水産・地域商社分野」は15計画に盛り込まれている。

周知のとおり北海道地域は日本の食料供給基地としての地位を確立しており、食料品製造業の製造品出荷額は全国の約8%（都道府県別で1位、平成29年）、農業産出額は全国の約14%（同1位、平成29年）、漁業産出額は全国の約20%（同1位、平成28年）を占めている。

豊富で品質のよい農水産品はもとより、それらを原料とした食料品製造の立地が全道広域に広がっている。原料確保を目的とした道外からの工場立地も進み、農水産品と加工品を包含した「食産業」という括りで世界にも通用する北海道ブランドを確立している。

29の基本計画に盛り込まれているように、道内自治体の規模を問わず、食料品製造関連分野及び農林水産分野は地域資源活用型の特徴ある産業かつ基幹産業となっており、近年では販路拡大を図るべく地域の関係機関の連携による地域商社の設立もみられるほか、アジア・欧米を中心とした輸出への取り組みも盛んになってきた。今後

は、さらに競争力・マーケティング力を高めて市場・顧客を国内から国外へと広げていくことが期待されている。こうした動きを加速するためにも、生産・製造から流通・販売にいたるまで、支援機関の連携拡大による幅広い支援が必要である。

「③健康福祉・医療（ヘルスケア）分野」は3計画（札幌市、岩見沢市、旭川市）に盛り込まれている。

北海道地域の社会構造に目を向けると、人口減少と超高齢化は不可避な状況にあり、その対応の一つの柱となる健康増進は、市民厚生面だけではなくビジネスとしても拡大する市場となり、保険外サービスをはじめとして多様な新しいヘルスケア関連産業の創出支援が必要となっている。

本道においても、地方自治体との連携による健康づくり事業、フィットネス事業からの新展開、機能的食品の開発、バイオベンチャー企業、健康・医療分野の新しい機器・システムの開発など、小規模ながらも萌芽がみられ、さらには、北海道ヘルスケア産業振興協議会、北海道医療機器関連産業ネットワークが設立され、関連企業及びユーザー企業のネットワークづくりを進めている。こうした動きを加速させるためにも、支援機関の連携拡大による幅広い支援が必要である。

「④観光関連（スポーツ・まちづくり）分野」は33計画に盛り込まれており、この中で3計画（札幌市、北見市、北広島市）がスポーツ関連分野を明記している。

北海道地域は4つのプロスポーツチームが拠点を置く全国有数の地域であり、道民のスポーツへの取り組みにかかる意識の高まりとともに、域外からの集客の原動力となり交流人口拡大の要素もある。さらに、上記③の健康福祉・医療（ヘルスケア）分野と同様に、拡大市場の一つである健康増進に寄与する産業であり、エンターテインメント性やテクノロジー活用の中という性格も併せ持つことから、北海道地域の産業資源である健康福祉・医療、食、観光、ITなどの他産業とスポーツ分野の融合による成長産業化が期待される。

また、その他の観光関連分野については、多種多様な観光資源に恵まれ、国内外からの評価も高いことから、道内において基本計画の戦略分野に位置づける市町村は数多い。北海道地域の観光GDPは約6,300億円と推計されており（「第6回北海道観光産業経済効果調査」（北海道経済部観光局））、この規模は道内総生産（平成26年度）の3.4%を占める。食関連産業と並んで観光関連分野は本道の基幹産業であり、その持続的な発展のためには、道内各地域における観光資源の再発掘・磨き上げをベースに、インバウンド需要のさらなる獲得、体験ツーリズム（コト消費）の推進、顧客満足度及び経営力の向上などが求められる。観光事業者には、地域関連機関との連携体制を強化し、さらに競争力・マーケティング力を高めて市場・顧客を国内から国外へと広げていくことが期待されている。

「⑤ものづくり関連（家具・木材関連産業含む）分野」は28計画に盛り込まれており、この中で6計画（旭川市・東神楽町・東川町、北見市、赤平市、紋別市、津別町、森町）が家具・木材関連産業分野を明記している。

国内有数の森林資源を活かす家具・木材関連産業は、道北・道東地域を中心に集積がみられ、中でも旭川地域は古くから国内有数の家具の産地として知られ、生産品目は一般家庭向けを主力に、ホテル、病院、店舗、他産地・事務機器メーカーのOEMなど多岐に渡っており、その8割が道外（主に大都市）へ出荷されている（旭川市調

べ)。家具・木材関連産業は、北海道経済の域際収支の改善への貢献という観点からも重要な産業分野であり、国内外の市場拡大に向け旭川ブランドを中心とした北海道ブランド構築が必要となっている。

また、その他のものづくり分野については、北海道地域では、歴史のある鉄鋼、豊富な森林資源を活用した紙・パルプ、大手企業製油所による石油製品、自動車部品を主体とした輸送機械の出荷額が大きく、日本のものづくり産業の特徴であるバリエーションに富む技術立脚型中小企業の集積の薄さが課題となっていた。その一方で、地域の産業ニーズに応じた食品加工機械、国内大手のエレクトロニクス関連の立地企業の下請けから発展した産業機械・部品製造など、特徴的な技術・市場を有する中小企業が活動している。さらに、ロボット、航空機、エネルギー、医療・健康機器、AI活用などといった新しい分野・成長分野への挑戦もみられる。こうした動きを加速するためにも、技術・製品開発からマーケティング、金融等の経営基盤強化にいたるまで、支援機関の連携拡大による幅広い支援が必要である。

「⑥IT関連産業分野」は8計画（札幌市、帯広市、千歳市、旭川市、釧路市・白糠町、北見市、江別市、石狩市）、「⑦第4次産業革命分野（IoT・AI技術等）」は3計画（函館市・北斗市・七飯町、岩見沢市、苫小牧市）に盛り込まれている。

IT産業及び情報通信・機械関連のものづくり産業については、第4次産業革命といわれているように、AI、IoT、ビッグデータ、ブロックチェーンなどの社会実装が今後のトレンドとなり、人生100年時代を支えるヘルスケア、生産性向上を図るスマート工場、金融、スマートシティ、働き方改革など、これらの技術・システムを適用・導入すべき分野は多岐にわたる。また、あらゆる産業分野での生産性向上や新事業創出などへの貢献だけでなく、社会面では都市基盤や地域運営の高次化を可能とすることから、本道の社会経済に波及効果を生む産業群として支援することの意義は大きい。

本道においても、札幌を中心に最新のITを担うベンチャー企業や情報通信技術の中核とする機械製造業が活動しており、さらには関連企業の協働を促進するブロックチェーン北海道イノベーションプログラム（BHIP）、札幌IoTイノベーション推進コンソーシアム、Sapporo AI Labなどが設立されている。こうした動きを加速するためにも、支援機関の連携拡大による幅広い支援が必要である。

#### 【北海道二十一世紀総合研究所について】

株式会社北海道二十一世紀総合研究所は、道内トップシェアの北洋銀行グループ等の出資を受けたシンクタンクとして長年にわたり北海道内の産業振興・地域振興にかかる調査研究を行ってきた。さらに、北洋銀行の顧客企業等を対象とした経営支援、農業・ライフサイエンス・SDGs等をテーマとしたファンド事業を手掛けるなど、近年は道内企業の事業支援・経営支援へと拡大している。

こうした活動を通じて培ってきた知見・ノウハウと関係機関のネットワークをもとに、上記7分野の支援を進めることとする。

## (2) 地域における支援体制について

### 【支援体制について】

本計画は、従来の政策にもある「地域の特性を活かして高付加価値を創出する」という要素に加え、「地域企業との取引・連携を通じて地域経済への波及効果を創出する」という点を視座としている。地域経済を牽引する企業とともに地域の関係機関が一体となって取り組むことが重要である。

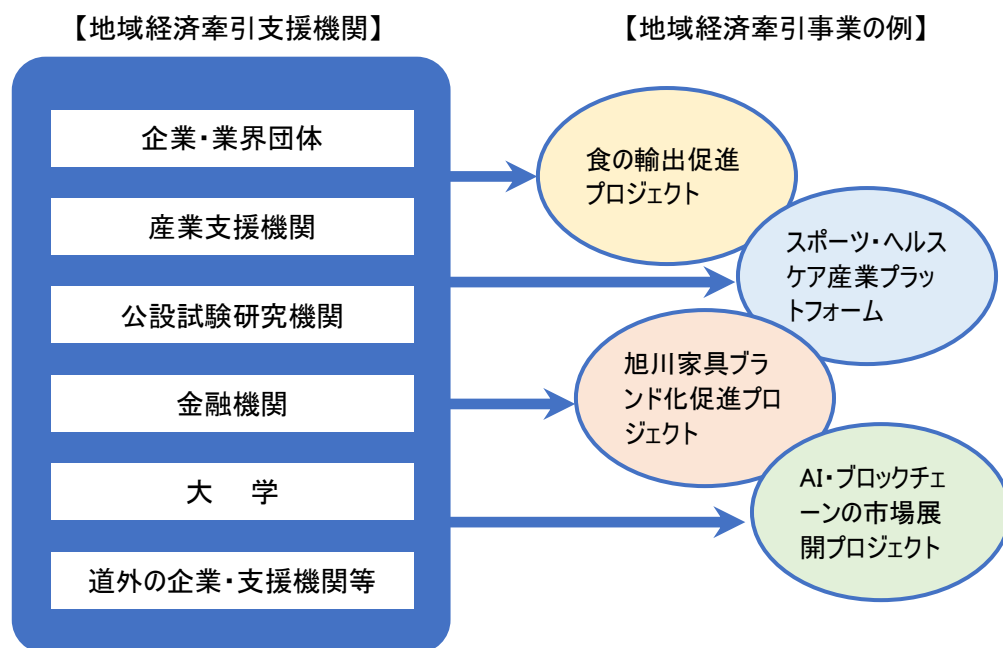
北海道地域の産業振興については、これまでも各産業支援機関が継続的に支援を進めてきており、株式会社北海道二十一世紀総合研究所においても、これらの支援機関との連携・協力体制のもと、研究開発支援、販路開拓支援、ネットワークづくりなど各種の支援を行ってきた。

今後は、人口減少の本格化、若者の道外流出の拡大、基幹産業での人材不足、世界規模での競争の激化など、対応すべき社会経済面の課題がより顕著になることから、成長市場分野への展開、新しい技術・インフラの開発・普及、生産性向上などを見据えた支援の拡充が必要となる。

そのため、本計画の策定と実行を契機として、地域経済牽引支援機関との連携体制をさらに強化し、それぞれが有する情報・ノウハウを有効活用することで北海道産業の高度化に資するものとする。

本計画では7つの事業分野を支援対象としており、発生した案件（地域経済牽引事業）に対して全ての地域経済牽引支援機関が関わる体制ではなく、それぞれの案件の事業内容・支援内容に応じて機動的に支援体制のフォーメーションを組成するものである（プロジェクト組成型）。また、必要に応じて地域経済牽引支援機関の参加を追加要請するなど、テーマや場面に応じて柔軟に対応できるものとする。

組成したプロジェクトごとに連携会議を開催し、当該支援機関間の情報交換、課題共有、方向性検討を進めるとともに、商材の開発からマーケティングにいたる一貫したシームレスな支援体制を構築する。



【支援内容毎の地域経済牽引支援機関の整理】

- ・技術・商品開発支援
  - ・地方独立行政法人北海道立総合研究機構
  - ・一般財団法人さっぽろ産業振興財団
  - ・旭川市（旭川市工芸センター）
  - ・スポーツデータバンク株式会社
  - ・合同会社TOKZUM
  - ・鶴雅リゾート株式会社
- ・マーケティング・販路開拓等支援
  - ・独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ北海道）
  - ・独立行政法人中小企業基盤整備機構（北海道本部）
  - ・北海道ヘルスケア産業振興協議会
  - ・スポーツデータバンク株式会社
  - ・合同会社TOKZUM
  - ・株式会社JTB総合研究所
  - ・株式会社北洋銀行
- ・企業発掘・コーディネート支援
  - ・北広島商工会
  - ・旭川家具工業協同組合
  - ・北海道ヘルスケア産業振興協議会
- ・金融支援
  - ・株式会社北洋銀行

(3) 地域の各地域経済牽引支援機関の役割について

連携支援事業を共同で実施する各地域経済牽引支援機関の役割と責任については、「3 連携支援事業を実施する者の役割分担、相互の提携又は連絡に関する事項」の(1)に掲げるとおり明確化するとともに、同「3」の(2)に掲げる連携体制を構築して、地域経済牽引事業を効果的に支援していく。

(4) 地域内で不足する支援機能の地域外からの補完について

本計画は、道内の機関を中心とした産学官金の連携支援体制により、地域経済を牽引する新たな事業創出にチャレンジするものである。

しかしながら、北海道地域においては、本計画が対象とする7分野いずれにおいても、海外との接点（現地関係機関とのつながり）、国内外の技術・ビジネスモデル等の先進的な動向、新しいマーケティング手法に関する支援機能が不足していることは否めない。

とりわけ市場・販路が世界規模に広がっていることをふまえると、食料品製造関連分野、ものづくり関連分野、観光関連分野については、海外のマーケット動向や規制・制度、取引慣習などを熟知している機関や専門家との連携が重要である。

また、観光（スポーツ）、健康福祉・医療（ヘルスケア）関連分野については、北海道地域においてもビジネスシーズは散見されるが、異分野と融合させるノウハウやネットワークづくりのノウハウが欠けている状況にある。

さらに、IT関連産業分野・ものづくり関連分野における次世代技術・システム等の開発・展開にあたっては、変化のスピードが速く開発競争が激しい領域であることから、国内外の先進的な技術動向・ビジネス動向をふまえた支援が必要となる。

このような状況から、連携支援事業の実施にあたっては、広範な検討課題に対応できる道外の機関・専門家とのネットワークを拡充し（サイエスト株式会社、ENGAWA株式会社、Henderson Media Consultants社、Media Japan Pte. Ltd.、株式会社JTB、一般社団法人日本・エストニアEUデジタルソサエティ推進協議会等）、専門的かつ先進的な情報・ノウハウを活用できる体制を構築する。

#### (5) 想定する支援件数

前記（2）～（4）に記載した産学官金の支援体制のもとで、当該分野にかかる新たな地域経済牽引事業を創出・支援する。

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	合計
目標件数	5件	5件	5件	5件	5件	25件

## 2 連携支援事業の内容及び実施時期

### (1) 連携支援事業の内容

#### ① 食料品製造関連分野

北海道内の食品製造業者の主に海外における競争力強化を図るため、試験研究機関、産業支援機関、金融機関等が連携を深め、関連事業者の経営力向上、市場開拓に資する取り組みを支援する。

具体的には、今後一層の市場のグローバル化を背景に‘稼げる食産業の創出’を目指すべく、マーケットに支持される商品の開発・改良や、販路確保・拡大、海外パートナーとの協働プロジェクトの組成、ブランド力向上などにつながる食関連産業のネットワーク・協業体制の構築支援、専門機関等を活用した技術面・事業面での指導や顧客情報等の提供による支援等を行う。

（連携する地域経済牽引支援機関：独立行政法人日本貿易振興機構、地方独立行政法人北海道立総合研究機構、一般財団法人さっぽろ産業振興財団、独立行政法人中小企業基盤整備機構、株式会社北洋銀行）

#### ② 農林水産・地域商社分野

生産額ベースで国内トップクラスの位置づけである道内農林水産事業者、また地域

で地域産品などを活かした商品企画・販売・マーケティング等を担う地域商社等の主に海外における競争力強化を図るため、試験研究機関、産業支援機関、金融機関等が連携を深め、関連事業者の経営力向上、市場開拓に資する取り組みを支援する。

具体的には、外貨の効果的な獲得に向け輸出用産品の生産や輸送・保管鮮度保持技術の開発、さらにBtoBビジネスほかマーケット獲得につながる一次加工品の開発・改良や、販路確保・拡大、海外パートナーとの協働プロジェクトの組成、ブランド力向上などにつながる食関連産業のネットワーク・協業体制の構築支援、専門機関等を活用した技術面・事業面での指導や顧客情報等の提供による支援等を行う。

(連携する地域経済牽引支援機関：独立行政法人日本貿易振興機構、地方独立行政法人北海道立総合研究機構、一般財団法人さっぽろ産業振興財団、独立行政法人中小企業基盤整備機構、株式会社北洋銀行)

### ③ 健康福祉・医療（ヘルスケア）分野

道内の医療・介護事業者と、食・観光・IT・小売・サービス等の分野における技術やアイデア、サービス、ノウハウ、データ等との融合により、既存のビジネスの高度化や新たなヘルスケア関連ビジネスの創出を目指すこととし、企業、業界団体、産業支援機関及び金融機関が連携を深め、関連企業の事業創出に資する取り組みを支援する。

具体的には、ヘルスケア分野の知見・技術・ノウハウを有する関連企業や専門家、研究機関等との連携体制の構築・拡大、ヘルスケア分野との融合が期待される道内企業群の発掘・支援に向けた連携体制の構築・拡大を図り、既存の支援プラットフォームの拡充を目指す。また、ヘルスケア分野での技術開発・システム開発等を行う企業に対して、金融機関との連携により資金面（ファンド事業、研究費助成）での支援を行う。

(連携する地域経済牽引支援機関：北海道ヘルスケア産業振興協議会、スポーツデータバンク株式会社、株式会社北洋銀行)

### ④ 観光関連（スポーツ・まちづくり）分野

スポーツ分野については、道内企業が有する食・観光・IT・ヘルスケア等の分野における技術やアイデア、サービス、ノウハウ、データとスポーツとの融合により、既存のビジネスの高度化や新たなスポーツ関連ビジネスの創出を目指すこととし、企業産業支援機関及び金融機関が連携を深め、関連企業の事業創出に資する取り組みを支援する。

具体的には、スポーツ分野の知見・技術・ノウハウを有する関連企業や専門家、研究機関等との連携体制の構築・拡大、スポーツとの融合が期待される道内企業群の発掘・支援に向けた連携体制の構築・拡大を図り、支援プラットフォームの構築を目指す。

また、その他の観光関連については、北海道地域の強みである観光資源をさらに掘り起こし、国内外の新しい観光需要を拡大・獲得するため、企業、支援機関、金融機関、自治体等が連携を深め、関連企業の事業創出に資する取り組みを支援する。

具体的には、体験ツーリズム（コト消費）に繋がるアドベンチャーツーリズム、エ

コツーリズム、ヘルスツーリズム、文化ツーリズムなど地域経済効果が期待される観光分野に着目し、体験観光事業者、宿泊事業者、旅行事業者等のネットワーク化による商品開発力の強化、専門家等を活用したマーケティング・営業力向上による国内外販路開拓等を支援する。

(連携する地域経済牽引支援機関：北広島商工会、北海道ヘルスケア産業振興協議会、スポーツデータバンク株式会社、株式会社JTB総合研究所、鶴雅リゾート株式会社、株式会社北洋銀行)

#### ⑤ ものづくり関連（家具・木材関連産業を含む）分野

北海道内に豊富にある木材原料を活用した道内木材・家具関連産業の国内外における競争力強化を図るため、公設試、産業支援機関、業界団体、金融機関が連携を深め、関連企業の経営力向上に資する取り組みを支援する。

具体的には、旭川家具産地をはじめとする木材・家具関連企業の発展を目的に、木材供給事業者・製材事業者、塗料製造業者、金属加工業者等の関連する企業群のネットワーク化による生産体制及び商品開発力の強化、専門家等を活用したブランド力・営業力向上による国内外販路開拓等を支援する。

また、その他のものづくり関連については、先端的・特徴的なものづくり関連産業の国内外における競争力強化を図るため、公設試、支援機関、業界団体、金融機関が連携を深め、関連企業の技術開発・製品開発をもとにした新分野・成長分野の市場開拓に資する取り組みを支援する。

具体的には、情報通信技術分野、医療・健康機器分野、AI、IoT、ロボットといった今後のトレンドとなる技術・市場分野に着目し、当該分野への参入を目指す企業群、ユーザーとなる企業群の連携・協業体制の構築を支援するとともに、金融機関との連携により資金面（ファンド事業、研究費助成）での支援を行う。

(連携する地域経済牽引支援機関：独立行政法人日本貿易振興機構、地方独立行政法人北海道立総合研究機構、旭川市（旭川工芸センター）、旭川家具工業協同組合、株式会社北洋銀行)

#### ⑥ IT関連産業分野及び ⑦ 第4次産業革命分野（IoT・AI技術等）

IT市場の先端分野・成長分野に取り組んでいる北海道内のIT関連産業を対象に、公設試、産業支援機関、金融機関、道外の専門家が連携を深め、関連企業の市場開拓に資する取り組みを支援する。

また、IoT・AI技術等を活用し、北海道内製造業の国内外における競争力強化を図るため、公設試、支援機関、業界団体、金融機関、道外の専門家が連携を深め、関連企業の市場開拓に資する取り組みを支援する。

具体的には、AI、IoT、ビッグデータ、ブロックチェーンといった今後のトレンドとなる技術・ノウハウの他産業や地域社会への普及を目的に、その中核的な技術・周辺技術を有する企業群、ユーザーとなる企業群の連携・協業体制の構築を支援するとともに、金融機関との連携により資金面（ファンド事業、研究費助成）での支援を行う。

(連携する地域経済牽引支援機関：地方独立行政法人北海道立総合研究機構、一般財



団法人さっぽろ産業振興財団、北海道ヘルスケア産業振興協議会、合同会社TOKZUM、株式会社北洋銀行)

(2) 計画期間

本計画の期間は承認の日から2023年度末日までとする。(平成31年2月28日時点において、北海道内の47の同意基本計画のうち最も計画期限到来が遅い「2023年度末日まで」となっているものと一致。)

### 3 連携支援事業を実施する者の役割分担、相互の提携又は連絡に関する事項

(1) 連携支援事業を共同で実施する地域経済牽引支援機関の名称及び住所並びにその代表者の氏名並びに当該地域経済牽引支援機関の役割

	当該連携支援事業を実施する者の ①名称、②住所、③代表者名	④当該連携支援事業における役割
1	①株式会社北海道二十一世紀総合研究所 ②北海道札幌市中央区大通西3丁目11番地 北洋ビル6階 ③代表取締役社長 中村栄作	当該連携支援事業の代表者 当該連携支援事業の進捗管理を行う ④コーディネート、プロモーション支援、情報提供、金融支援、調査研究
2	①独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ北海道） ②東京都港区赤坂1丁目12-32アーク森ビル ③理事長 石毛博行	④商談会開催、輸入規制、海外市場、海外見本市等にかかる情報提供
3	①北広島商工会 ②北海道北広島市中央5-7-2 ③会長 藤山康雄	④スポーツ分野にかかるコーディネート、情報提供
4	①北海道ヘルスケア産業振興協議会 ②北海道札幌市中央区大通西3丁目11番地 北洋ビル6階 ③会長 徳田禎久	④スポーツ関連事業者、ヘルスケア関連事業者の発掘、コーディネート、情報提供
5	①地方独立行政法人北海道立総合研究機構 ②北海道札幌市北区北19条西11丁目 北海道総合研究プラザ ③理事長 田中義克	④食関連分野、IT・ものづくり全般に係る技術支援
6	①旭川市 ②北海道旭川市6条通9丁目 ③市長 西川将人	④木材加工に係る技術支援 【担当課】 旭川市経済部旭川市工芸センター
7	①旭川家具工業協同組合 ②北海道旭川市永山2条10丁目1-35 ③会長 桑原義彦	④家具・木材関連分野にかかる海外プロモーション支援、関連事業者への情報提供
8	①一般財団法人さっぽろ産業振興財団 ②北海道札幌市白石区東札幌5条1丁目1-1 ③理事長 秋元克広	④食関連分野にかかる商品改良支援、IT・第4次産業革命分野にかかる開発支援、マーケティング支援
9	①独立行政法人中小企業基盤整備機構（北海道本部） ②東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル ③理事長 高田坦史	④海外市場を主体としたマーケティング支援
10	①スポーツデータバンク株式会社 ②東京都中央区東日本橋2-6-11-4 ③代表取締役兼CEO 遠藤利文	④スポーツ分野、ヘルスケア分野にかかる商品開発支援、マーケティング支援

11	①合同会社TOKZUM ②東京都西東京市南町5-9-15-13 ③代表執行役社長 徳山隆俊	④IT・第4次産業革命分野にかかる先端技術利活用コンサルティング、ファンリテーション能力による新ビジネス創出・ユースケース発掘支援
12	①株式会社JTB総合研究所 ②東京都港区芝3-23-1 セレスティン芝三井ビルディング12階 ③代表取締役社長 野澤肇	④観光分野にかかるマーケティング支援、プロモーション支援
13	①鶴雅リゾート株式会社 ②北海道釧路市阿寒町阿寒湖温泉2丁目6番10号 ③代表取締役 大西雅之	④観光分野にかかる商品開発ノウハウ支援
14	①株式会社北洋銀行 ②北海道札幌市中央区大通西3丁目7番地 ③取締役頭取 安田光春	④事業拡大に伴う資金需要への対応、海外拠点の活用による海外プロモーション支援

(2) 連携支援事業を共同で実施する地域経済牽引支援機関の相互の提携又は連絡に関する事項

道内企業や自治体からの相談等に迅速かつ適切に対応するため、問い合わせ案件について基本的に以下の3段階の流れで対応する体制を構築する。

**【ステップ1】**

本計画は、地域経済牽引事業それぞれの事業内容・支援内容に応じて機動的に支援体制のフォーメーションを組成するものであり、その企画・コーディネートを株式会社北海道二十一世紀総合研究所が担う。

道内企業や自治体から相談等を受ける窓口は一本化せず、各地域経済牽引支援機関が相談等を受けた際は、株式会社北海道二十一世紀総合研究所と情報を共有する体制とする。迅速かつ適切に対応するため、株式会社北海道二十一世紀総合研究所はその情報をもとに速やかに支援プロジェクトチーム（連携支援事業）を検討・組成する。

**【ステップ2】**

組成した支援プロジェクトチーム（連携支援事業）において、メンバーとなった地域経済牽引支援機関は窓口担当者を決定し、各機関ワンストップで対応できる体制とする。

また、対応すべき支援テーマに関して、メンバーとなった地域経済牽引支援機関において対応ができない内容については、メンバー以外の地域経済牽引支援機関の知見・ノウハウを導入・活用できる体制とする。

**【ステップ3】**

道内企業や自治体から相談等を受けた中で、本計画による支援が困難と判断される地域経済牽引事業については、各地域経済牽引支援機関が有するネットワーク等を活

用し、別の支援機関等に打診し対応の方向性について検討する。

なお、支援プロジェクトチーム（連携支援事業）毎に、年2～3回担当者会議を開催し、支援テーマ・内容の精査・改善、プロジェクトの進捗管理、メンバー間の課題共有などを行う。

## Ⅱ 任意記載事項

### 1 補助金等交付財産の活用に関する事項

(該当なし)

(備考)

- 1 記名押印については、氏名を自署とする場合、押印を省略することができる。
- 2 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

添付資料： 北海道内における同意基本計画の戦略分野（本計画と関連性のある事業分野）

自治体名	地域の特性及びその活用戦略(抜粋)
札幌市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大通公園等の観光資源を活用した観光関連分野</li> <li>・食関連産業等の産業集積を活用した食料品製造関連分野</li> <li>・北海道大学等の研究機関の技術を活用した健康福祉・医療分野</li> <li>・IT産業の集積を活用したIT・クリエイティブ分野</li> <li>・スポーツ産業の集積を活用したスポーツ・まちづくり分野</li> <li>・製造業の集積を活用したものづくり関連分野</li> </ul>
函館市・北斗市・七飯町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立はこだて未来大学等の人材を活用した第4次産業革命(IoT・AI技術等)</li> <li>・食料品製造業の産業集積を活用した食料品製造関連分野</li> </ul>
旭川市・東神楽町・東川町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊富な森林資源を背景とした木材関連産業の集積を活用した家具等製造分野</li> </ul>
帯広市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長いもや乳用牛・肉用牛等の農畜産品を活用した食料品製造分野</li> <li>・帯広畜産大学等の技術を活用した農林水産分野</li> <li>・ばんえい競馬等の観光資源を活用した観光分野</li> <li>・生産用機械器具製造業等の集積を活用したものづくり関連分野</li> <li>・長いもや乳用牛・肉用牛等の農畜産品を活用した地域商社分野</li> <li>・農畜産業の集積を活用したIT関連産業分野</li> </ul>
岩見沢市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品製造業の集積を活用した食品製造関連</li> <li>・充実した高度情報通信基盤を活用した第4次産業革命(IoT/AI活用の地域実装)</li> <li>・ワイナリー等の観光資源を活用した観光</li> <li>・先駆的な健康経営都市宣言の取組を活用したヘルスケア</li> </ul>
千歳市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新千歳空港等のインフラを活用した食品製造業</li> <li>・食関連産業の集積を活用した食品製造業</li> <li>・新千歳空港等のインフラを活用したIT関連産業分野</li> <li>・IT産業の集積を活用したIT関連産業分野</li> <li>・千歳科学技術大学の人材を活用したIT関連産業分野</li> <li>・電子部品・デバイス・電子回路製造業、はん用機械器具製造業等の集積を活用したものづくり関連分野</li> </ul>
音更町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音更大袖振大豆等の特産物を活用した農林水産分野</li> <li>・音更大袖振大豆等の特産物を活用した食料品等製造分野</li> <li>・十勝川温泉等の観光資源を活用した観光分野</li> </ul>
芽室町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道横断自動車道等の交通インフラを活用した食料品関連製造分野</li> <li>・北海道横断自動車道等の交通インフラを活用した農林水産分野</li> <li>・生産量日本一のスイートコーン等の農畜産品の特産物を活用した食料品関連製造分野</li> <li>・食料品製造業の産業集積を活用した食料品関連製造分野</li> <li>・流通関係企業の産業集積を活用した食料品関連製造分野</li> <li>・流通関係企業の産業集積を活用した農林水産分野</li> </ul>
旭川市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食料品製造業等の集積を活用した食料品製造関連分野</li> <li>・機械金属産業の集積を活用したものづくり関連分野</li> <li>・医療関係機関の集積を活用したヘルスケア関連分野</li> <li>・充実した高度情報通信基盤を活用したIT関連産業分野</li> <li>・旭山動物園等の観光資源を活用した観光関連分野</li> </ul>
釧路市・白糠町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水産物・生乳等の特産物を活用した食料品製造関連分野</li> <li>・「紙・パルプ産業」「機械・金属産業」等の集積を活用したものづくり関連分野</li> <li>・IT産業の集積を活用したIT関連産業分野</li> </ul>

自治体名	地域の特性及びその活用戦略(抜粋)
	・阿寒摩周国立公園等の観光資源を活用した観光関連分野
北見市	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産量全国一位のタマネギ、白花豆等の特産物を活用した食料品製造関連分野</li> <li>北見工業大学等のIT人材を活用したIT関連産業分野</li> <li>木材加工企業等の集積を活用した木材関連産業分野</li> <li>北見工業技術センター等の公設試験研究機関の技術を活用したものづくり関連分野</li> <li>「北見焼肉」等の特産物を活用した観光関連分野</li> <li>温根湯温泉等の観光資源を活用した観光関連分野</li> <li>北見工業大学等の研究シーズを活用したスポーツ関連産業分野</li> </ul>
苫小牧市	<ul style="list-style-type: none"> <li>北日本最大の国際拠点港湾「苫小牧港」等の交通インフラを活用した農林水産・地域商社分野</li> <li>自動車関連産業等の集積を活用したものづくり関連分野</li> <li>日本最大の産業地域「苫小牧東部地域」等のインフラを活用した第4次産業革命分野(自動走行等)</li> <li>新千歳空港等の交通インフラを活用した観光関連分野</li> </ul>
美瑛市・奈井江町	<ul style="list-style-type: none"> <li>「プラスチック製品製造業」「金属製品製造業」等の集積を活用したものづくり関連分野</li> <li>積雪寒冷な自然環境を活用した食料品製造関連分野</li> <li>安田侃彫刻美術館等の観光資源を活用した観光関連分野</li> </ul>
芦別市	・精密機械製造業等の集積を活用したものづくり関連分野
江別市	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道情報大学等の研究機関の知見を活用した食料品製造関連分野</li> <li>「パルプ・紙・紙加工品製造業」「窯業・土石製品製造業」等の集積を活用したものづくり関連分野</li> <li>IT産業の集積を活用したIT関連産業分野</li> <li>「小麦(ハルユタカ)」、「やきもの市」等の観光資源を活用した観光関連分野</li> </ul>
赤平市	・「かばん製造業」「木材・木製品製造業」等の集積を活用したものづくり関連分野
紋別市	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホタテ、生乳等の豊富な農水産物資源を活用した食料品製造分野</li> <li>緑の循環森林認証(SGEC)材等の豊富な森林資源を活用した林業・木材・木製品製造分野</li> <li>流水等の観光資源を活用した観光関連分野</li> </ul>
滝川市	・お米等の特産品を活用した農商工連携・地域商社分野
砂川市	・菓子製造業等の食関連産業の集積を活用した食料品製造関連分野
恵庭市	<ul style="list-style-type: none"> <li>流通関連企業の集積を活用した食料品製造関連分野</li> <li>馬鈴薯、大根、南瓜等の露地野菜等の農産品を活用した食料品製造関連分野</li> <li>「花」によるオープンガーデンや「花とくらし展」等の観光資源を活用した観光関連分野</li> <li>道央自動車道等の交通インフラを活用したものづくり関連分野</li> </ul>
石狩市	<ul style="list-style-type: none"> <li>大規模工業団地(石狩湾新港地域)等の産業インフラを活用した食料品製造関連分野</li> <li>大規模工業団地(石狩湾新港地域)等の産業インフラを活用したものづくり関連分野</li> <li>充実した通信インフラを活用したIT関連産業分野</li> <li>さやえんどう等の特産物を活用した農林水産分野</li> <li>厚田公園展望台等の観光資源を活用した観光関連分野</li> </ul>
当別町	<ul style="list-style-type: none"> <li>お米・小麦・アスパラ等の特産物を活用した農林水産・地域商社分野</li> <li>お米・小麦・アスパラ等の特産物を活用した食料品製造関連分野</li> <li>金属製品製造業の集積を活用したものづくり関連分野</li> </ul>
ニセコ町	・ニセコアンヌプリ等の観光資源を活用した観光関連分野
鷹栖町	・ななつぼし・トマト・鷹栖牛等の特産物を活用した農林水産・地域商社分野

自治体名	地域の特性及びその活用戦略(抜粋)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道縦貫自動車道等の交通インフラを活用した食料品製造関連分野</li> <li>・北海道縦貫自動車道等の交通インフラを活用したものづくり関連分野</li> </ul>
東川町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大雪山国立公園等の観光資源を活用した観光関連分野</li> </ul>
南富良野町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かなやま湖、エゾシカ料理等の観光資源を活用した観光関連分野</li> </ul>
中札内村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・枝豆等の農産物を活用した農林水産関連分野</li> <li>・枝豆等の農産物を活用した食料品製造関連分野</li> <li>・「日本で最も美しい村」連合に認められた豊かな自然景観等の観光資源を活用した観光・まちづくり関連分野</li> <li>・枝豆等の農産物を活用した観光・まちづくり関連分野</li> </ul>
小樽市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小樽運河・石造倉庫群等の観光資源を活用した観光関連分野</li> <li>・金属製品製造業・プラスチック製品製造業等の集積を活用したものづくり関連分野</li> <li>・食料品製造業の集積を活用した食料品製造関連分野</li> </ul>
名寄市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産量日本一のもち米等の特産物を活用した農林水産分野</li> <li>・生産量日本一のもち米等の特産物を活用した食料品製造関連分野</li> <li>・「冬季スポーツ施設」「きたすばる天文台」「ひまわり畑」等の観光資源を活用した観光関連分野</li> <li>・「パルプ・紙・紙加工品製造業」等の集積を活用したものづくり関連分野</li> </ul>
富良野市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜、乳用牛等の特産物を活用した農林水産分野</li> <li>・野菜、乳用牛等の特産物を活用した食料品製造関連分野</li> <li>・ラベンダー、スキー場等の観光資源を活用した観光関連分野</li> </ul>
登別市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登別温泉やカルルス温泉等の観光資源を活用した観光関連分野</li> </ul>
北広島市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化学工業、印刷・同関連業等の集積を活用したものづくり関連分野</li> <li>・道央自動車道等の交通インフラを活用した食料品製造関連分野</li> <li>・「きたひろしま総合運動公園予定地」等のインフラを活用したスポーツ・観光・まちづくり関連分野</li> </ul>
仁木町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さくらんぼ、ぶどう等の特産物を活用した食料品製造関連分野</li> <li>・観光農園、ワイナリー等の観光資源を活用した観光関連分野</li> </ul>
余市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・りんご、ぶどう等の特産物を活用した食料品製造関連分野</li> <li>・ワイナリー等の観光資源を活用した観光関連分野</li> </ul>
沼田町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積雪寒冷な自然環境を活用した農林水産分野</li> <li>・深川・留萌自動車道等の交通インフラを活用したものづくり関連分野</li> </ul>
上川町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大雪山国立公園等の観光資源を活用した観光関連分野</li> </ul>
中富良野町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラベンダー等の観光資源を活用した観光関連分野</li> </ul>
下川町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小麦、フルーツトマト、鶏卵等の特産物を活用した農林水産分野</li> </ul>
津別町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木材・木製品製造業等の集積を活用した木材関連産業分野</li> </ul>
滝上町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小麦、スイートコーン、七面鳥、薄荷等の特産物を活用した食料品製造関連分野</li> <li>・芝ざくら等の観光資源を活用した観光関連分野</li> </ul>
厚岸町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さんま・カキ等の特産物を活用した食料品製造関連分野</li> <li>・さんま・カキ等の特産物を活用した観光関連分野</li> <li>・造船製造・修理業等の集積を活用したものづくり関連分野</li> </ul>
森町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カボチャ、トマト、ホタテ、エビ等の豊富な農水産物資源を活用した食料品製造分野</li> <li>・道南スギ・トドマツ・カラマツ等の豊富な森林資源を活用した林業・木材・木製品製造分野</li> </ul>
妹背牛町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お米等の特産物を活用した農林水産分野</li> <li>・銚鉄鋳物製品製造業等の集積を活用したものづくり関連分野</li> </ul>
上富良野町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「かみふらのポーク」等の農畜産物を活用した食料品製造関連分野</li> <li>・ものづくり関連産業の集積を活用したものづくり関連分野</li> </ul>

自治体名	地域の特性及びその活用戦略(抜粋)
大樹町	・生乳等の農畜産品を活用した農林水産関連分野
斜里町	・世界自然遺産知床等の観光資源を活用した観光関連分野